ELECOM

Bluetooth®
完全ワイヤレスイヤホン

Bluetooth®

取扱説明書 [Vo.1]

LBT-TWS17シリーズ

※この取扱説明書では、とくに断りのない限りは製品名を代表して「LBT-TWS17」と表記しています。各シリーズの動作は共通です。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには以下の物が含まれています。お使いになる前にパッケージの内容を確認してください。

- □ イヤホン …… 左右1セット
- □ 充電ケース …… 1個
- □ USB充電ケーブル …… 1本

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書はBluetooth 完全ワイヤレスイヤホンの使用方法や、安全に取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。本書の内容を十分にご理解いただいたうえで本製品をお使いください。

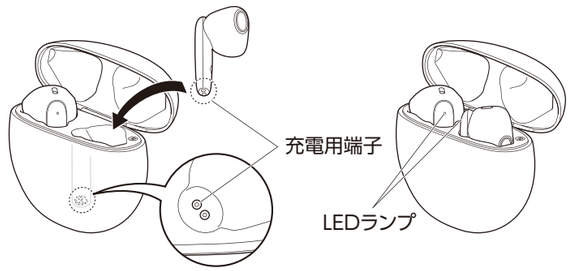
充電のしかた

本製品をご使用になる前に、イヤホンを充電ケースに入れて充電します。
充電ケースの充電には付属のUSB充電ケーブルを使用します。

充電について

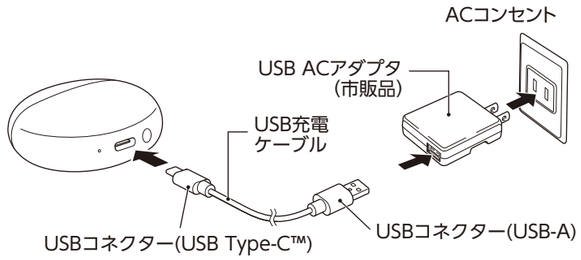
※ 充電時間は、接続するUSBポートの出力によって異なります。
※ イヤホンや、充電ケースの充電用端子に汚れなどが付着すると、充電ができなくなる場合があります。汚れが付いたら乾いた柔らかい布や綿棒などでお手入れしてください。
※ イヤホンおよび充電ケースは、満充電後、使用せず放置しているだけでも自然放電しています。長期間使用しなかった場合、下図を参照して再充電してください。

❶ イヤホンを充電します。
充電ケースにイヤホンを下図のように入れます。



※ すでにイヤホンが入っている場合は、イヤホンを取り出してから充電ケースに入れ直すと、充電を開始します。

❷ 充電ケースを充電します。
充電ケースにUSB充電ケーブルを下図のように接続します。



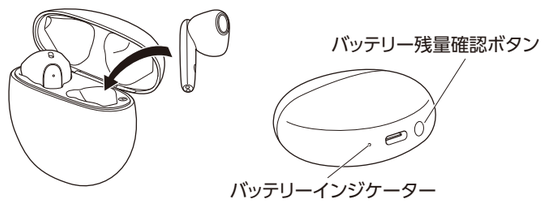
※ 充電ケースの電池残量がゼロになるとイヤホンを充電ケースに入れてもイヤホンの電源はオフになりません。
充電ケースの電池残量が5%以下になりましたら充電してください。

充電状態の動作

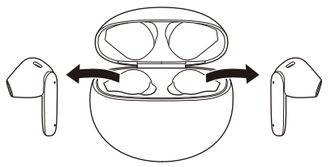
充電ケース		
製品状態	バッテリーインジケーター LEDランプ点灯状態	
	バッテリー残量表示	バッテリー充電表示
満充電/充電完了	LED 4 秒間点灯	LED 点灯
充電状態が5%以上		LED 点滅
充電状態が5%以下	LED が 4 回点滅	

イヤホン本体	
製品状態	LEDランプ点灯状態
充電完了	イヤホン：消灯
充電中	イヤホン：点灯

■充電ケースのバッテリー残量表示方法
イヤホンを充電ケースに入れ直す、もしくは充電ケースのバッテリー残量確認ボタンを押すと、バッテリーインジケーターのLEDランプが点灯または点滅します。



イヤホンの電源オン／オフ



電源オン□充電ケースからイヤホンを取り出す。
左右のLEDランプ：3回点滅（電源オン直後）

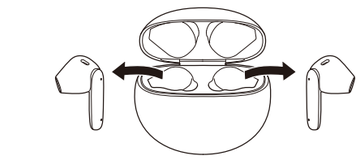
電源オフ□充電ケースにイヤホンを入れる。
左右のLEDランプ：点灯（イヤホン充電中）
点灯→消灯（充電完了）

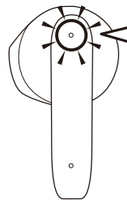
※ 「動作仕様一覧」の通り、タッチセンサーで電源オン/オフも可能です。
※ 充電ケースの電池残量がゼロになるとイヤホンを充電ケースに入れてもイヤホンの電源はオフになりません。
充電ケースの電池残量が5%以下になりましたら充電してください。

ペアリング（機器への初期登録）の方法

本製品をスマートフォンやタブレット、パソコンなどのBluetooth機能で使用するためには、ご使用になる機器とペアリング（本製品を機器に初期登録する操作）をおこなう必要があります。ご使用になる接続機器側の操作については、そちらの機器の取扱説明書をご覧ください。

❶ 充電ケースからイヤホンを取り出す。
※ 左右のイヤホンが自動的にペアリングし、自動的に接続機器とのペアリングモードになります。





点灯パターン
・イヤホン同士のペアリングモード
LEDランプが点滅
※イヤホン同士のペアリング完了後、「Pairing」と聞こえます。
・接続機器とのペアリングモード
左右どちらかのLEDランプが、5秒に1回点滅
5秒
左右どちらかのLEDランプが点滅

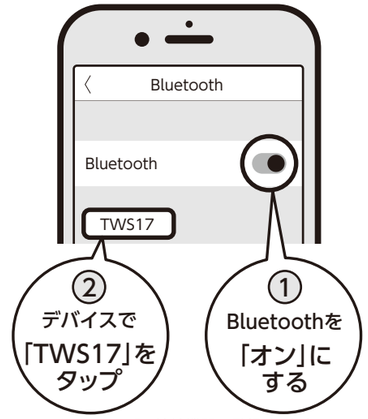
イヤホン同士のペアリング完了後、接続機器とのペアリングモードとなり、LEDランプの点滅が切り替わります。

- 接続機器とのペアリングモードに切り替わらない場合は一旦充電ケースにセットしてやり直すか、リセットをお試しください。
- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切ってからやり直してください。
- すでにペアリング済みの機器が周囲にあり、機器側の自動接続設定や、信頼設定機能が有効になっている場合は、その機器と自動的に接続します。
- ペアリング操作は3分以内に完了してください。約3分で電源がオフになりますので、その場合は最初からやり直してください。
- イヤホンのリセットをおこなった場合は、再度接続機器とペアリング操作をおこなってください。

※ 以前接続したデバイス名が残ることがあります。その場合は、以前接続したデバイス名を削除してから、新たに表示されたデバイス名を登録してください。

❷ スマートフォンなどの接続機器で本製品（TWS17）を検索→登録する。

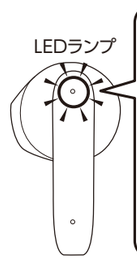
【例】iPhone/iPad、Android端末の場合⇒
[設定]→[Bluetooth]→Bluetoothを「オン」→デバイスで「TWS17」をタップ



※ スマートフォンなどの接続機器へ登録時、左右のイヤホンで別のデバイス名が表示されることがあります。接続機器側のBluetoothを一度オフにし、再度オンに切り替えていただくと、デバイス名が1つに表示されます。

検索方法はご使用の機器によって異なります。お手持ちの機器の取扱説明書をお読みいただくか、弊社ホームページから「簡単接続ガイド」をダウンロードしてご確認ください。
http://www.elecom.co.jp/rd/elesup/010.html

❸ 左右のLEDランプが「5秒に1回点滅」で接続機器とのペアリング完了です。次回からは本製品の電源をオンにした後、自動的に接続されます。



点灯パターン
・接続機器とのペアリングモード
左右どちらかのLEDランプが5秒に1回点滅
5秒
左右どちらかのLEDランプが点滅
・接続機器とのペアリング完了
左右のLEDランプが5秒に1回点滅
5秒
※接続機器とのペアリング完了後、「Connected」と聞こえます。

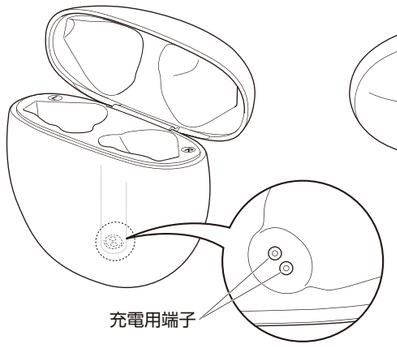
- パスキーの入力を促すメッセージが表示された場合は、「0000」（ゼロ4つ）と入力します。
- 機器によって、ペアリング後に「接続」操作が必要な場合があります。お手持ちの機器の取扱説明書をお読みになり、「接続」操作をしてください。
- ペアリング情報は8台まで登録できます。9台目を登録した場合は、古い情報から順番に削除されます。削除された機器と再接続する場合は、再度ペアリングが必要です。
- ペアリング先の機器の設定状態などの原因でペアリングが完了しない場合は、一旦電源を切ってからやり直してください。

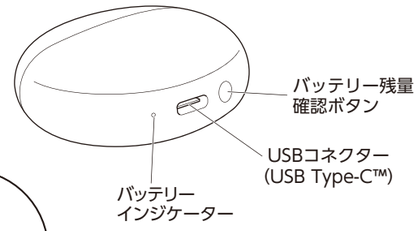
❹ 接続機器で音楽を再生するとイヤホンから音楽が聴こえます。

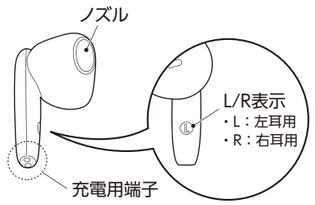
ペアリング後、接続機器によっては大音量で再生される場合があります。
そのままご使用になると聴力に悪影響を与える場合がありますので、適切な音量に調節してからご使用ください。
※ 接続機器によっては出力先を切り替える操作が必要になる場合があります。ご使用になる機器の取扱説明書を参照してください。

- 接続機器との通信が途切れるなど接続が解除されると、非接続状態に移行します。
- 非接続状態のまま再接続されない場合、約3分で自動的に電源がオフになります。

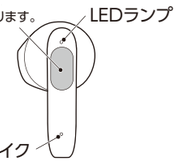
各部の名称



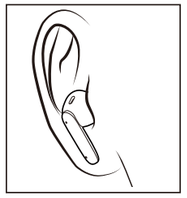




タッチセンサー
※色付き部がタッチセンサーエリアです。
※左右ともに同じエリアにセンサーがあります。



■ イヤホンの装着方法
イラストを参考に耳の凹凸に引っかかるように装着します。装着後、イヤホンが耳から落ちないか確認してください。
- 製品に汚れなど付着した場合は、製品の電源をオフにした状態で、乾いた柔らかい布や綿棒などでクリーニングをしてください。



動作仕様一覧

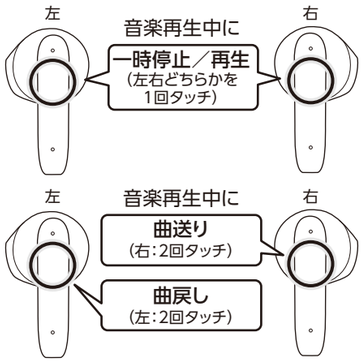
	機器・状態	タッチセンサーの操作	LEDランプの状態	音声ガイダンス
電源	電源オン	左と右それぞれのタッチセンサーを 2 秒タッチ	左右：3回点滅	左右：Power on
		充電ケースからイヤホンを取り出す		
	電源オフ	充電ケースにイヤホンを入れる	–	–
		左と右それぞれのタッチセンサーを 5 秒タッチ ※1	左右：3回点滅	左右：Power off
		3 分以内に接続機器とのペアリングが完了しない		
接続	イヤホン同士の ペアリングモード ※2	–	左右：点滅	左：Left channel 右：Right channel
	接続機器との ペアリングモード	イヤホン同士のペアリング後、自動でペアリングモードになる	左：5秒に1回点滅 右：点滅 ※3	左右：Pairing
	ペアリング完了(接続状態)	–	左右：5秒に1回 点滅	左右：Connected
	ペアリングが途切れたとき (非接続状態)	–	左：5秒に1回点滅 右：点滅 ※3	左右：Disconnected
音楽	再生	左または右のタッチセンサーを 1 回タッチ	–	–
	一時停止	左または右のタッチセンサーを 1 回タッチ	–	–
	次の曲の頭出し	右のタッチセンサーを 2 回タッチ	–	–
	前の曲または 再生中の曲の頭出し	左のタッチセンサーを 2 回タッチ	–	–
通話	電話に出る	着信中に左または右のタッチセンサーを 2 回タッチ	–	–
	電話を切る	通話中に左または右のタッチセンサーを 2 回タッチ	–	–
	着信拒否	着信中に左または右のタッチセンサーを 2 秒タッチ	–	–
音量調節	音量を上げる	右のタッチセンサーを長押し ※4 (2秒後に音量が上がります。1 回の長押しで最大8段階調節できます。更に調節したい場合は再度長押ししてください)	–	最大音量：効果音
	音量を下げる	左のタッチセンサーを長押し ※4 (2秒後に音量が下がります。1 回の長押しで最大8段階調節できます。更に調節したい場合は再度長押ししてください)	–	最小音量：効果音
モード切替	低遅延モード	左または右のタッチセンサーを 3 回タッチ	–	左右： Low latency on/ Low latency off
音声	音声アシスタント 呼出 ※5	左または右のタッチセンサーを 4 回タッチ	–	–
充電	バッテリー残量不足	–	左右：1秒に1回 点滅	左右：2分に1回 Low battery please charge
	充電中	–	左右:点灯	–
	充電完了	–	左右:消灯	–
その他	イヤホンのリセット ※6	左右のイヤホンがオフの状態で左と右それぞれのタッチセンサーを 8 秒タッチ ※ リセットは左右のイヤホンを同時におこなってください。※7	リセット完了後 左右：6回点滅	左右：効果音

※1 音楽、動画再生中や通話中は電源はオフになりません。2秒以上長押しすると音量調節が機能します。
※2 リセット後、自動的にこの動作に入ります。
※3 左右LEDランプの状態が入れ替わる場合があります。
※4 片耳使用時に音量調節はできません。
※5 接続機器が音声アシスタントの入力操作に対応している必要があります。
※6 リセットは、イヤホンと接続機器がペアリングできない、 動作が不安定と感じた場合にお試しください。
※7 リセット後、イヤホン同士のペアリングがおこなわれるため、リセットは必ず左右のイヤホン同時におこなってください。
イヤホンのリセットをおこなった場合は、再度接続機器とペアリング操作をおこなってください。

- 接続機器やアプリケーション、OS、通信環境などお客様のご使用環境により異なる場合があります。
- タッチセンサーが反応しにくい場合があります。その場合は接続機器を操作してください。

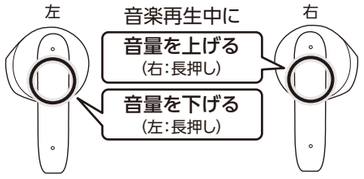
基本操作

音楽を聴く



- 接続機器が対応している必要があります。
- 非接続状態のまま再接続されない場合、約3分で自動的に電源がオフになります。

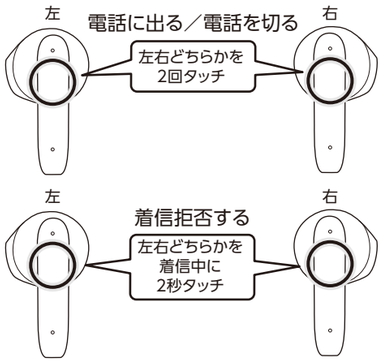
音量を調節する



- 2秒後に音量が変更されます。一回の長押しで最大8段階調節できます。更に調節したい場合は再度長押ししてください。

※ 片耳使用時はご使用できません。

通話をする



- 接続機器が通話機能に対応している必要があります。
- 非接続状態のまま再接続されない場合、約3分で自動的に電源がオフになります。
- 一部の音声通話用アプリケーションでは、Bluetoothでの通話に対応していない場合があります。
- 一部の音声通話用アプリケーションでは、この操作に反応しない機器もあります。その場合は、接続機器で操作してください。
- 通話時に本製品を最大音量でご使用中、通話相手側にエコーが生じた場合は本製品の音量を少し下げてください。

低遅延モード

Bluetooth特有の映像と音の遅延が低減され、モーション/リップシンクが向上します。動画やゲーム視聴に適しています。

●低遅延モードオン/オフ：「Low latency on」/「Low latency off」と音声ガイダンスします。

基本仕様

製品型番(デバイス名)	LBT-TWS17シリーズ（TWS17）
電源電圧	DC 5V
通信方式	Bluetooth 標準規格 Version5.3
出力	Bluetooth Power Class2
対応 Bluetooth プロファイル	A2DP（音楽機能）、AVRCP（リモートコントロール機能）、HFP（ハンズフリー通話機能）
A2DP の対応コーデック	SBC、AAC
最大登録可能台数	8 台
充電時間	充電ケース：約2時間 ※1 イヤホン：約 1.5 時間 ※1
動作環境	温度/湿度5～35℃/20～80%RH（ただし結露なきこと）
連続再生最大時間	約 5.5 時間（充電ケース込み 約22時間）※2
連続待受最大時間	約40時間 ※2
外形寸法（幅×奥行×高さ）	充電ケース　約56 × 約22 × 約55mm イヤホン部(片耳)　約18 × 約18 × 約31mm
重量	充電ケース部　約28g イヤホン部(片耳)　約 3.3 g
保証期間	1年間

※1 充電時間は、接続するUSBポートの出力によって異なります。
※2 接続機器や、アプリケーション、OS、通信環境などお客様のご使用環境によって異なる場合があります。

- 本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、ユーザーサポートまでご連絡願います。
- 本製品を安全にお使いいただくために、記載している使用方法をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本製品の仕様および外観は、製品の安全性向上、品質改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、エレコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- その他本書に記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- Androidは、Google LLCの商標です。
- iPhone、iPadは、Apple Inc.の商標です。
- USB Type-C and USB-C are trademarks of USB Implementers Forum.
- LINEおよびLINEヤフーロゴは、LINEヤフー株式会社の登録商標です。

困ったときは・・・

電源が入らないとき

本製品のバッテリーが充電されているかどうかを確認してください。充電されていない場合は、バッテリーを充電してください。

ペアリングができないとき

Bluetooth搭載機器とペアリングできない

- 接続機器側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認してください。ペアリングが完了しない場合は、再度ペアリングモードにして設定する必要があります。
- ご使用の機器が本製品のプロファイルに対応しているかを確認してください。
- リセットを試してください。リセットの操作方法は本書の「動作仕様一覧」をご確認ください。リセットすると接続された機器情報が消去され、自動的にペアリングモードになります。
- 接続機器から本製品の登録情報を削除（または解除）し、再度ペアリング（初期登録）からお試しください。

聞こえないとき

片側しか聞こえない

- 左右のイヤホンが2つとも電源が入っているか確認してください。
- イヤホン同士のペアリングができていない可能性があります。その場合はリセットをお試しください。

環境や機器の状態によって以下のような状態が発生した場合、しばらくお待ちいただくと接続されることがあります。

- 左右のイヤホンがペアリング状態だが接続先機器と接続しない。
- 左右どちらかのイヤホンのみ接続先機器と接続する。

しばらくお待ちいただいても接続されない場合は、本製品の電源および接続先機器のBluetoothを一度切ってから、再度BluetoothをONにしてペアリングをお試しください。

Bluetoothの通信が途切れやすいとき

本製品に対して、すべてのBluetooth機器の動作を保証するものではありません。
また次の環境下の場合は、Bluetooth通信が途切れてしまう場合があります。

- 本製品と接続機器の間に人体がある場合
- 本製品と接続機器の間に金属や壁などの障害物がある場合
- 周辺でBluetooth機器が多く接続されている場合
- 2.4GHz帯を使用する無線LAN（IEEE802.11g/b/n）機器などの近くや使用中の電子レンジ周辺
- USB3.0のケーブルを使用した環境（外付HDDなど）が近い場合

それらの環境下に当てはまる場合は通信が途切れてしまうことがあります。その場合は、それらの環境下になるべく当てはまらない状況で、本製品と接続機器を近づけて、ペアリングや接続ができるかを確認してください。

※ スマートフォンと左右イヤホンの電波接続状態は限りなく良好を維持できるように設計されています。しかし周囲の電波状況の悪い場所では、音が一瞬小さくなったり、途切れたり、左右交互に音が出るなどの症状が発生する場合があります。

このような症状は製品の異常ではありませんので、電波状況の悪くない場所に移動すれば発生しにくくなります。

充電ができないとき

充電用端子をきれいにしてください
イヤホンや、充電ケースの充電用端子に汚れなどが付着すると、充電ができなくなる場合があります。汚れが付いたら乾いた柔らかい布や綿棒などで、ふき取ってください。

タッチセンサーが反応しないとき

タッチセンサーエリアを確認し、再度操作をお試しください。
手が乾燥などしていると、タッチセンサーの反応が鈍くなる場合があります。その場合は接続機器を操作してください。

安全上のご注意

■本製品を安全に正しくご使用いただき、事故/トラブルを未然に防止するために、以下を必ずよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に保管してください。

🚫	記号は禁止の行為であることを表しています。
⚠	記号は注意（警告を含む）を促す内容であることを表しています。
強制	記号は強制を表しています。

⚠ 警告 ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

● 車の運転中には使用しないでください
車の運転中には本製品を使用しないでください。また、歩行中でも、駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況をよくご確認ください。

● 万一、異常が発生したときは
本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、付属のUSB充電ケーブルをUSB ACアダプタなどのUSB電源から抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、ユーザーサポートにご相談ください。

● 高温のまま放置しないでください
本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。車の中には絶対に放置しないでください。本製品を高温の車内に長時間放置しておくと、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

● 充電が終わったら、必ず充電ケーブルを取り外してください
また、必要な充電時間を終えて充電が完了しない場合も、一旦充電ケーブルを取り外してください
所定の充電時間を超えて充電した場合、内部電池が発熱・発火・破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

● 着信音量の設定には十分気をつけてください
スマートフォンと接続して使用しているときに、着信音に驚いて事故の原因となったり、心臓に影響を与えるおそれがあります。

● 分解しないでください
本書の指示に従っておこなう作業を除いては、自分で修理や改造分解をしないでください。感電や火災、やけど、けがの原因になります。

● 接続に使用するコードを傷つけないでください
火災や断線の原因となります。

● 病院内や航空機の中などでは使用しないでください
高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機関や航空機の計器類など誤動作の原因になります。

⚠ 注意 ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を負うおそれがある項目です。

● 屋外で使用する際は、周りの安全に十分に注意してご使用ください
屋外で使用する際は、周りの状況がわかるように音量を適度に調節してご使用ください。

● 水気の多い場所での使用・保管はしないでください
本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。
充電用端子に汗や水が付着した場合は、ご使用後すみやかに拭き取ってください。

● 小さなお子様の手の届く所に保管しないでください
誤飲など思わぬ事故を招く場合があります。

● 本体は精密な電子機器のため衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください

● 充電用端子に金属製のものを接触させないでください
感電、やけどの原因になります。また、汚れやホコリ等も定期的に取り除いてください。
充電用端子の接点部を強く押し込まないでください。

● 接続機器の取扱説明書の指示に従ってください
本製品は、スマートフォンなどと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

● 定期的に充電してください
本製品を長期間使用しない場合でも、1ヶ月に1度を目安に充電してください。
バッテリーが膨張したり、劣化の原因となります。

● 日本国以外では使用しないでください
本製品は日本国内専用です。国外では独自の安全規格が定められており、それらの規格に適合することは保証致しかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねます。

■その他：こんなことにも注意してください

- 静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- 本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください（金属部分以外）。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。
- 高磁力のマグネットを使用しているため磁気の影響を受けやすいもの（電気製品、磁気カードなど）とは近づけないでください。

⚠ 電波に関する注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ユーザーサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことがございましたら、ユーザーサポートまでお問い合わせください。

使用周波数帯域：2.4GHz
変調方式：周波数拡散方式 FHSS（Frequency Hopping Spread Spectrum）
想定干渉距離：約10m
周波数変更の可否：全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能
■イヤホン
R210-225908

■内蔵バッテリーについて
バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は、特性であり故障ではありません。また、バッテリーの交換はできません。

- 本製品を使用せず、長期間保管していた場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。
- 周囲温度が低い環境では、持続時間が短くなります。

■廃棄について
本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。
本製品には、リチウムイオン電池（Li-ion）が使われています。

ユーザーサポートについて

選べる！ 充実サポート

LINE でチャットサポート
LINEアプリから
友だち追加でかんたんに
チャットでお問い合わせ！

Web でチャットサポート
ブラウザーからでも
会員登録なしにお気軽に
ご相談いただけます。

チャットサポートは QR からアクセス！

電話でサポート エレコム製品サポートからカテゴリーごとに「よくあるご質問」や「サポートコミュニティ」をご紹介。電話によるサポートが必要な場合は、サポートダイヤルをご用意しております。
連絡先はコチラから 8056.jp

エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入、ご使用による問い合わせ、サポート対応は致しかねます。
製品交換は保証規定に沿って対応いたしますが、日本以外からの製品交換は対応致しかねます。
In “ELECOM CO., LTD. (Japan)”, no customer support is available to inquiries about purchases or usage in/from any other countries than Japan.
Replacement will be made under stipulation of the Elecom warranty, but not available from outside of Japan.

お問い合わせの前に、次の内容をご用意ください。

- 弊社製品の型番
- ご利用のスマートフォン、タブレット、パソコンなどの型番
- ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）

個人情報の取り扱いについて
ユーザー登録・修正依頼・製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的のための関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示要求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。
お客様の個人情報は細心の注意を払って管理いたしますので、ご安心ください。

保証規定

■ 保証期間
1年間

■ 保証対象
保証対象は本製品の本体・本製品の動作に起因する部分のみとさせていただきます。取扱説明書および消耗品は対象外です。

■ 保証内容
1. 弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます。）内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。
※保証期間を超過している場合、有償となります。

■ 無償保証範囲
2. 以下の場合には、保証対象外となります。
(1) 購入証明書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
※購入証明書は、購入日、購入店、型番が確認できるもの（レシート・納品書など）を指します。
(2) 購入証明書に偽造・改変などが認められた場合。
(3) 中古品として本製品をご購入された場合。（リサイクルショップでの購入、オークション購入での中古品を含む）
(4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
(5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
(6) 通常一般家庭、一般オフィス内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動などにより故障した場合。
(7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下などにより故障した場合。
(8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
(9) 接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が生じた場合。
(10) ソフトウェア（ファームウェア、ドライバ他）のアップデート作業によって故障、障害が生じた場合。
(11) 本製品の、パッケージ、取扱説明書、ならびに弊社ホームページ内などに記載の使用方法、および注意に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合。
(12) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■ 修理
3. 修理のご依頼は、購入証明書をお買い上げいただいた製品一式（付属品、セット品含む）に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。（返送時の送料は弊社が負担いたします。）また、ご送付いただく際、適切な梱包のうえ、紛失防止のため受渡の確認できる手段（宅配や簡易書留など）をご利用ください。
なお、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
5. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
6. 保証期間内にて修理、交換により交換された、旧部品または旧製品などは返却致しかねます。
7. 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全はおこなわず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願いいたします。
8. 修理期間中における代替機および貸出機のご用意はございません。

■ 免責事項
9. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為などの損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
10. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償などにつきましては、弊社は一切責任を負いかねます。
11. データを取扱う際には自己責任において、必ず定期的なバックアップを取ってください。本製品の故障または使用によって生じた、保存データの消失、破損などについては一切保証いたしません。

■ 有効範囲
12. この保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応は致しかねます。
This warranty is valid only in Japan. In “ELECOM CO., LTD. (Japan)”, no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan.

Bluetooth 完全ワイヤレスヘッドホン
LBT-TWS17 シリーズ 取扱説明書
2024 年 1 月 初版

ELECOM

©2024 ELECOM CO., LTD. All Rights Reserved.